

ハンディドアストッパー

※ご使用に際して、この説明文をお読み下さい。

要保管 **外開きドア用**

ご使用時のお願い

- 操作は全て「操作レバー」で行って下さい。ストッパー自身を足や手で直接降ろさないようにして下さい。通常操作以外の操作は、破損の原因となります。
- ストッパー解除の時は、必ず軽くドアを外側に押しながら「操作レバーを引き上げ」て下さい。ドアの重さ・備え付けのドアクローザーの状態・床面の素材によって「ドアのストップ状態」は多様で、ストップ状態が強固な場合「操作レバーが引き上げにくい場合」があります。そのような場合、軽くドアを外側に押しながら操作をするとスムーズに行う事ができます。

特長

- 強力マグネットでスチールドアに取付OK。
- アルミドア・木製ドアには付属のプレート使用で取付可能。
- ドア下から、約70cm上の位置でストッパーの操作が出来ますので、「腰をかがめて手で操作」したり「片足で操作」したりする必要がありません。
- 操作レバーは可動がスムーズで握り易いデザイン(腕でも操作可能)



ご使用方法

- 図1 解放の仕方は、軽くドアを外側に押しながら「操作レバーを引き上げ」て、左右どちらかに90度回すとストッパーが上がり本体内に収納され解放になります。
- 図2 ドアストップの仕方は「操作レバーをセンターに90度戻す」と、操作レバーが下がり、本体内からストッパーが降りてドアをストップします。※操作は全て「操作レバー」で行って下さい。ストッパーを手や足で直接降ろさないようにして下さい。通常操作以外の操作は、破損の原因となります。

取付方法

- (注)マグネットは、非常に強力です。取り付け時、指や手をはさみ込まない様充分に注意しながら取り付けて下さい。
- 下記の説明文の③で「すべり止めシート」のハクリ紙をはがすとありますが、マグネットが強力な為ドアストッパーの取付位置を決める段階で、ハクリ紙をはがさなくてもシッカリ固定でき、ご使用に支障のないと判断された場合は、ハクリ紙をはがさずにご使用頂いても結構です。

用意する物 プラスドライバー スチールドアに直接取り付ける場合

- 図3 ご確認下さい。ドア下から床の間12cmまで対応。ドア下の戸当たりに当たる部分の高さ15mm以上の場合は、取付不可。
- スチールドアに直接取り付ける場合は、本体マグネットに取り付けている補助プレートを上下2枚外して下さい。

- ①図4 高さ調整プレートを固定するネジをゆるめて「プレートが上下に動く状態」にして下さい。

- ②図5 ドアを開いてドアを「ドアストッパーで止めておきたい位置」にてドアストッパーの位置を決めて行います。取付位置は、ドアストッパーの「操作レバー」の作動が邪魔にならないよう「ドアの端からプレートの中心まで約10cm程」は間隔を空けて下さい。

- ③図6 図7 ドアストッパーのレバーを下げて、ストッパーを降ろした状態で「ストッパゴムの底面が床面にしっかりと設置」する位置を決め「ドアに本体を仮固定」します。

- ④図8 高さ調整プレートはプレートのL部分をドア下迄スライドさせて「位置が決まったらネジを締めてプレートを固定」して下さい。

- ⑤一度ドアからドアストッパーを外して、ドアストッパー裏側のマグネット面に貼っている「すべり止めシート」のハクリ紙をはがします。(マグネット面に直接付いているすべり止めシートははがさないで下さい)

- ⑥すべり止めシートのハクリ紙をはがしたドアストッパー本体をドアに位置決めた所にセットして取付完了です。

木製やアルミドアに取り付ける場合、補助プレートの使用

- 木製やアルミ製のドアに取り付ける場合は、付属の補助プレートをご使用下さい。
- ⑤まず本体に補助プレートをつけた状態で上記②(スチールドアに直接つける場合)のようにドアストッパーの取り付け高さ(位置)を決めて下さい。

- ⑥次に補助プレートの両面テープのハクリ紙を剥がして下さい。

- ⑦図10 ドア面の補助プレートが当たる位置は、結露等の水分・汚れ・油分をしっかりと取り除いてからドアストッパーを貼り付けて下さい。水分・汚れ・油分は「はがれの原因」となります。取り付け後補助プレートの位置をしっかりとドア面に押し付けましょう。

- ⑧取り付け後ドアストッパーのみをドアから外し、再度補助プレートを上からドア面にしっかりと押し付け、その状態で補助プレートの貼り付け面がドア面としっかりと貼り付く迄、24時間お待ち下さい。

- ⑨補助プレートが貼り付け後24時間はドアストッパーを取り付けないで下さい。補助プレートの両面テープは時間が経つと接着力がより強力になります。(夏期は気温が高く接着力が低下するのでより一層時間をかけて下さい)

- ⑩補助プレートがしっかりとドア面に取り付いた事を確認して、ドアストッパー裏側のマグネット面に貼っている「すべり止めシート」のハクリ紙をはがします。(マグネット面に直接付いているすべり止めシートははがさないで下さい)「すべり止めシート」のハクリ紙をはがしたドアストッパー本体をドアに位置決めして貼り付けた補助プレートにセッティングして下さい。

- ⑪一度ドアからドアストッパーを外して、ドアストッパー裏側のマグネット面に貼っている「すべり止めシート」のハクリ紙をはがします。(マグネット面に直接付いているすべり止めシートははがさないで下さい)「すべり止めシート」のハクリ紙をはがしたドアストッパー本体をドアに位置決めして貼り付けた補助プレートにセッティングして下さい。

- ⑫木製やアルミのドアに取り付けの場合、ドアに取り付ける補助プレートの厚み分、高さ調整プレートとドア面に隙間が大きくなりますので、両面接着テープを「2枚重ねて」貼って下さい。(付属品)

- ⑬両面接着テープを貼り付けるドア面の取付位置は、結露等の水分・汚れ・油分をしっかりと取り除いてから貼り付けて下さい。それが残っていますと「はがれの原因」につながりますのでご注意下さい。

- ⑭取り付け後24時間はドアストッパーを動かさないで下さい。時間が経つと接着力がより強力になります。(夏期は気温が高く接着力が低下するので、より一層時間をかけて下さい)

- ⑮ドアストッパーがドアよりずれる場合

- ⑯図11 ドアストッパー作動中及びドアを固定している時にドアストッパーがドアよりずれたりする場合は、一度ドアストッパーをドアより外して、高さ調整プレートに「付属の両面接着テープを1枚貼り付け」高さ調整プレートとドア面を両面接着テープで固定して下さい。

- ⑰木製やアルミのドアに取り付けの場合、ドアに取り付ける補助プレートの厚み分、高さ調整プレートとドア面に隙間が大きくなりますので、両面接着テープを「2枚重ねて」貼って下さい。(付属品)

- ⑱両面接着テープを貼り付けるドア面の取付位置は、結露等の水分・汚れ・油分をしっかりと取り除いてから貼り付けて下さい。それが残っていますと「はがれの原因」につながりますのでご注意下さい。

- ⑲取り付け後24時間はドアストッパーを動かさないで下さい。時間が経つと接着力がより強力になります。(夏期は気温が高く接着力が低下するので、より一層時間をかけて下さい)

- ⑳ドアストッパーがドアよりずれる場合

- ㉑図11 ドアストッパー作動中及びドアを固定している時にドアストッパーがドアよりずれたりする場合は、一度ドアストッパーをドアより外して、高さ調整プレートに「付属の両面接着テープを1枚貼り付け」高さ調整プレートとドア面を両面接着テープで固定して下さい。

- ㉒木製やアルミのドアに取り付けの場合、ドアに取り付ける補助プレートの厚み分、高さ調整プレートとドア面に隙間が大きくなりますので、両面接着テープを「2枚重ねて」貼って下さい。(付属品)

- ㉓両面接着テープを貼り付けるドア面の取付位置は、結露等の水分・汚れ・油分をしっかりと取り除いてから貼り付けて下さい。それが残っていますと「はがれの原因」につながりますのでご注意下さい。

- ㉔取り付け後24時間はドアストッパーを動かさないで下さい。時間が経つと接着力がより強力になります。(夏期は気温が高く接着力が低下するので、より一層時間をかけて下さい)

- ㉕ドアストッパーがドアよりずれる場合

- ㉖図11 ドアストッパー作動中及びドアを固定している時にドアストッパーがドアよりずれたりする場合は、一度ドアストッパーをドアより外して、高さ調整プレートに「付属の両面接着テープを1枚貼り付け」高さ調整プレートとドア面を両面接着テープで固定して下さい。

- ㉗木製やアルミのドアに取り付けの場合、ドアに取り付ける補助プレートの厚み分、高さ調整プレートとドア面に隙間が大きくなりますので、両面接着テープを「2枚重ねて」貼って下さい。(付属品)

- ㉘両面接着テープを貼り付けるドア面の取付位置は、結露等の水分・汚れ・油分をしっかりと取り除いてから貼り付けて下さい。それが残っていますと「はがれの原因」につながりますのでご注意下さい。

- ㉙取り付け後24時間はドアストッパーを動かさないで下さい。時間が経つと接着力がより強力になります。(夏期は気温が高く接着力が低下するので、より一層時間をかけて下さい)

- ㉚ドアストッパーがドアよりずれる場合

- ㉛図11 ドアストッパー作動中及びドアを固定している時にドアストッパーがドアよりずれたりする場合は、一度ドアストッパーをドアより外して、高さ調整プレートに「付属の両面接着テープを1枚貼り付け」高さ調整プレートとドア面を両面接着テープで固定して下さい。

- ㉜木製やアルミのドアに取り付けの場合、ドアに取り付ける補助プレートの厚み分、高さ調整プレートとドア面に隙間が大きくなりますので、両面接着テープを「2枚重ねて」貼って下さい。(付属品)

- ㉝両面接着テープを貼り付けるドア面の取付位置は、結露等の水分・汚れ・油分をしっかりと取り除いてから貼り付けて下さい。それが残っていますと「はがれの原因」につながりますのでご注意下さい。

- ㉞取り付け後24時間はドアストッパーを動かさないで下さい。時間が経つと接着力がより強力になります。(夏期は気温が高く接着力が低下するので、より一層時間をかけて下さい)

- ㉟ドアストッパーがドアよりずれる場合

- ㉟図11 ドアストッパー作動中及びドアを固定している時にドアストッパーがドアよりずれたりする場合は、一度ドアストッパーをドアより外して、高さ調整プレートに「付属の両面接着テープを1枚貼り付け」高さ調整プレートとドア面を両面接着テープで固定して下さい。

- ㉟木製やアルミのドアに取り付けの場合、ドアに取り付ける補助プレートの厚み分、高さ調整プレートとドア面に隙間が大きくなりますので、両面接着テープを「2枚重ねて」貼って下さい。(付属品)

- ㉟両面接着テープを貼り付けるドア面の取付位置は、結露等の水分・汚れ・油分をしっかりと取り除いてから貼り付けて下さい。それが残っていますと「はがれの原因」につながりますのでご注意下さい。

- ㉟取り付け後24時間はドアストッパーを動かさないで下さい。時間が経つと接着力がより強力になります。(夏期は気温が高く接着力が低下するので、より一層時間をかけて下さい)

- ㉟ドアストッパーがドアよりずれる場合

- ㉟図11 ドアストッパー作動中及びドアを固定している時にドアストッパーがドアよりずれたりする場合は、一度ドアストッパーをドアより外して、高さ調整プレートに「付属の両面接着テープを1枚貼り付け」高さ調整プレートとドア面を両面接着テープで固定して下さい。

- ㉟木製やアルミのドアに取り付けの場合、ドアに取り付ける補助プレートの厚み分、高さ調整プレートとドア面に隙間が大きくなりますので、両面接着テープを「2枚重ねて」貼って下さい。(付属品)

- ㉟両面接着テープを貼り付けるドア面の取付位置は、結露等の水分・汚れ・油分をしっかりと取り除いてから貼り付けて下さい。それが残っていますと「はがれの原因」につながりますのでご注意下さい。

- ㉟取り付け後24時間はドアストッパーを動かさないで下さい。時間が経つと接着力がより強力になります。(夏期は気温が高く接着力が低下するので、より一層時間をかけて下さい)

- ㉟ドアストッパーがドアよりずれる場合

- ㉟図11 ドアストッパー作動中及びドアを固定している時にドアストッパーがドアよりずれたりする場合は、一度ドアストッパーをドアより外して、高さ調整プレートに「付属の両面接着テープを1枚貼り付け」高さ調整プレートとドア面を両面接着テープで固定して下さい。

- ㉟木製やアルミのドアに取り付けの場合、ドアに取り付ける補助プレートの厚み分、高さ調整プレートとドア面に隙間が大きくなりますので、両面接着テープを「2枚重ねて」貼って下さい。(付属品)

- ㉟両面接着テープを貼り付けるドア面の取付位置は、結露等の水分・汚れ・油分をしっかりと取り除いてから貼り付けて下さい。それが残っていますと「はがれの原因」につながりますのでご注意下さい。

- ㉟取り付け後24時間はドアストッパーを動かさないで下さい。時間が経つと接着力がより強力になります。(夏期は気温が高く接着力が低下するので、より一層時間をかけて下さい)

- ㉟ドアストッパーがドアよりずれる場合

- ㉟図11 ドアストッパー作動中及びドアを固定している時にドアストッパーがドアよりずれたりする場合は、一度ドアストッパーをドアより外して、高さ調整プレートに「付属の両面接着テープを1枚貼り付け」高さ調整プレートとドア面を両面接着テープで固定して下さい。

- ㉟木製やアルミのドアに取り付けの場合、ドアに取り付ける補助プレートの厚み分、高さ調整プレートとドア面に隙間が大きくなりますので、両面接着テープを「2枚重ねて」貼って下さい。(付属品)

- ㉟両面接着テープを貼り付けるドア面の取付位置は、結露等の水分・汚れ・油分をしっかりと取り除いてから貼り付けて下さい。それが残っていますと「はがれの原因」につながりますのでご注意下さい。

- ㉟取り付け後24時間はドアストッパーを動かさないで下さい。時間が経つと接着力がより強力になります。(夏期は気温が高く接着力が低下するので、より一層時間をかけて下さい)

- ㉟ドアストッパーがドアよりずれる場合

- ㉟図11 ドアストッパー作動中及びドアを固定している時にドアストッパーがドアよりずれたりする場合は、一度ドアストッパーをドアより外して、高さ調整プレートに「付属の両面接着テープを1枚貼り付け」高さ調整プレートとドア面を両面接着テープで固定して下さい。

- ㉟木製やアルミのドアに取り付けの場合、ドアに取り付ける補助プレートの厚み分、高さ調整プレートとドア面に隙間が大きくなりますので、両面接着テープを「2枚重ねて」貼って下さい。(付属品)

- ㉟両面接着テープを貼り付けるドア面の取付位置は、結露等の水分・汚れ・油分をしっかりと取り除いてから貼り付けて下さい。それが残っていますと「はがれの原因」につながりますのでご注意下さい。

- ㉟取り付け後24時間はドアストッパーを動かさないで下さい。時間が経つと接着力がより強力になります。(夏期は気温が高く接着力が低下するので、より一層時間をかけて下さい)

- ㉟ドアストッパーがドアよりずれる場合

- ㉟図11 ドアストッパー作動中及びドアを固定している時にドアストッパーがドアよりずれたりする場合は、一度ドアストッパーをドアより外して、高さ調整プレートに「付属の両面接着テープを1枚貼り付け」高さ調整プレートとドア面を両面接着テープで固定して下さい。

- ㉟木製やアルミのドアに取り付けの場合、ドアに取り付ける補助プレートの厚み分、高さ調整プレートとドア面に隙間が大きくなりますので、両面接着テープを「2枚重ねて」貼って下さい。(付属品)

- ㉟両面接着テープを貼り付けるドア面の取付位置は、結露等の水分・汚れ・油分をしっかりと取り除いてから貼り付けて下さい。それが残っていますと「はがれの原因」につながりますのでご注意下さい。

- ㉟取り付け後24時間はドアストッパーを動かさないで下さい。時間が経つと接着力がより強力になります。(夏期は気温が高く接着力が低下するので、より一層時間をかけて下さい)

- ㉟ドアストッパーがドアよりずれる場合

- ㉟図11 ド